「く」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「く」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 20

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「く」で始まる語彙辞典（メジャー）

くい - で【食（い）出】
十分食べたと思うほどの食べ物の量。食べごたえ。「値段の割に―のある料理」

くい - より【食（い）寄り】
食事のもてなしなどを目当てに、人が集まってくること。また、利益のために寄り集まること。「親(しん)は泣き寄り、他人は―」

くう - い【空位】
① ある地位にだれもついていないこと。また、その地位。「会長の座が―になる」
② 名ばかりの位。

くう - げき【空隙】
すきま。間隙。「―を埋める」「心の―」

くう - ぜん【空然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
何も考えずにぼんやりしているさま。うつろなさま。「―と空を仰ぐ」

くう - そ【空疎】
［名・形動］
見せかけだけでしっかりした内容や実質がないこと。また、そのさま。空虚。「―な論争」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

くう‐てん【空転】
［名］（スル）
① 車輪などがむだに回転すること。からまわり。
② 何の成果もないまま、物事がむだに進行すること。「国会審議が―する」

くうどう‐か【空洞化】
［名］（スル）
① 中央部が空虚になること。周辺部を残して中心部が欠落すること。「地価上昇による都市の―」「脳組織が―する」
② 実質を失い、外形だけが残ること。「産業の―」「制度が―する」

くう‐ばく【空漠】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 果てしなく広いさま。茫漠(ぼうばく)。「―とした大洋」
② 漠然としてとらえどころがないさま。「―とした不安」

くう‐ひ【空費】
［名］（スル）
時間・労力などをむだに使うこと。むだづかい。徒費。「貴重な時間を―する」

くうふく‐かん【空腹感】
腹がへった気分。「ガムを噛んで―を紛らわす」

くう‐もう【空濛】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
小雨や霧のために、ぼんやりと薄暗いさま。「―とした夜景」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

食(く)うや食わず
食事も満足にとらないようす。貧しく暮らしているようす。「―でためた金」

く‐きょう【苦況】
苦しい状況。「―を脱する」

く‐きょう【苦境】
苦しい境遇。苦しい立場。「―を乗りこえる」「―に立つ」「―に陥る」「―に直面する」

くぐもり‐ごえ【くぐもり声】
中にこもって、はっきりしない声。含み声。

くけ‐こ・む【絎け込む】
［動マ五（四）］
布の端を中に入れて縫い目が見えないように縫う。

臭(くさ)い飯を食・う
囚人となり刑務所の飯を食う。刑務所に入れられる。

臭(くさ)い物に蓋(ふた)をする
悪事や醜聞などを、他に漏れないように一時しのぎに隠そうとするたとえ。

草木(くさき)も眠る
夜がすっかり更けて、すべてのものが寝静まることのたとえ。「―丑(うし)三つ時」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

くさ - くさ
［副］（スル）
おもしろくないことがあったり、いらいらしたりして、心が晴れないさま。くしゃくしゃ。「雨続きで気が―する」

腐（くさ）っても鯛（たい）
すぐれたものは、いたんでもそれなりの値打ちは保っているということのたとえ。

草（くさ）の根（ね）を分けて捜・す
あらゆる方法を尽くしてすみずみまで捜す。草を分けて捜す。

くさば - の - かげ【草葉の陰】
《草の葉の下の意から》
墓の下。あの世。「―から見守る」

楔（くさび）を打（う）ち込（こ）・む
敵陣の中に攻め込んで、その勢力を二分する。また、他の勢力範囲の中に地盤を築く。「一社独占の市場に―・む」

楔（くさび）を刺（さ）・す
後日問題が起こらないように、しっかりと約束を確かめる。念をおす。

くさ - ぶか・い【草深い】
［形］［文］くさぶか・し［ク］
① 草が生い茂っているさま。「―・い山道」
② いかにも田舎めいている。ひなびている。「―・い山里」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

腐(くさ)る程(ほど)
使いきれないほど物がたくさんあるようすの形容。「金は―ある」

くされ‐あ・う【腐れ合う】
［動ワ五（ハ四）］
男女が不倫な関係を結ぶ。くさりあう。

くさ‐わけ【草分け】
① 土地を切り開いて、そこに村や町を興すこと。また、その人。
② ある物事を初めて行うこと。また、その人。創始者。「電子工業界の―」

草(くさ)を打って蛇に驚く
なにげなくしたことから意外な結果が生じるたとえ。草を打って蛇を驚かす。

くしく‐も【奇しくも】
［副］《形容詞「くし」の連用形＋係助詞「も」から》
偶然にも。不思議にも。「―その誕生日に世を去った」

櫛(くし)の歯が欠けたよう
切れ目なく続くべきもの、そろって並んでいるはずのものが、ところどころ欠けているさま。「次々に客が座席を立ち、会場は―になる」

櫛(くし)の歯の如(ごと)・し
絶え間なく続くさま。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

櫛(くし)の歯を挽(ひ)・く
《櫛の歯は、一つ一つのこぎりでひいて作ったところから》
物事が絶え間なく続く。「―・くように難題がふりかかる」

くし‐め【櫛目】
櫛で髪の毛をすいたあとにできる筋目。「―の通った髪」

く‐しん【苦心】
［名］(スル)
物事を成し遂げようといろいろ試みたり考えたりして苦労すること。「―に―を重ねる」「―が実る」「―して作る」

く‐じゅう【苦汁】
① にがい汁。
② つらい経験。「―を飲まされる」

苦汁(くじゅう)を嘗(な)・める
つらくて嫌な思いをする。にがい経験をする。「落選の―・める」

薬(くすり)が効き過・ぎる
仕置き・忠告などの効果がありすぎて、かえって逆の結果になってしまう。

糞(くそ)も味噌(みそ)も一緒(いっしょ)
価値のあるものとないものとの区別がないこと。また、それらを同一に扱うこと。
味噌も糞も一緒。「―にして言う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

くだを巻・く
とりとめのないことをしつこく言う。「酔って―・く」

口裏(くちうら)を合わ・せる
あらかじめ相談して話の内容が食い違わないようにする。

口裏(くちうら)を引・く
本心を言わせるように誘いをかける。それとなく本心を探る。

くち - おも・い【口重い】
［形］［文］くちおも・し［ク］
① ゆっくりと話すさま。
② 軽々しくものを言わないさま。「―・く沈黙する」

口(くち)が煩(うるさ)・い
① いろいろと評判やうわさをする。「世間の―・い」
② 少しのことでも小言や意見をやかましく言う。口うるさい。「―・い年寄り」

口(くち)が奢(おご)・る
うまい食べ物に慣れて、ぜいたくになる。「―・った人」

口(くち)が腐っても
《口を動かさないために腐ってしまってもという意から》
秘密などをもらさない決意の強いことをいう言葉。「―言わない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

口(くち)が過・ぎる
言うのを控えるべきことまで言う。言いすぎる。「年長者に向かって少し―・ぎるぞ」

口(くち)が酸っぱくなる程
同じ言葉をなん度も繰り返して言い聞かせるさま。「―注意する」

口(くち)が干上(ひあ)が・る
生活手段を失い、食えなくなる。あごが干上がる。「職がなくて―・る」

口(くち)が解(ほぐ)・れる
気持ちが和らいで少しずつ話すようになる。「会が進むにつれ、出席者の―・れる」

くち - しのぎ【口凌ぎ】
① 一時しのぎに食べること。また、その食べ物。「お―に茶菓子をどうぞ」
② 暮らしを一時的にしのぐこと。「―の仕事」

口三味線(くちじゃみせん)に乗・せる
言葉巧みに言いくるめてだます。口車に乗せる。「悪徳業者の―・せられる」

くち - ぞえ【口添え】
［名］(スル)
傍らから言葉を添えてとりなすこと。「知人のために―する」

口(くち)と腹とは違う
口で言うことと、腹の中で考えていることとは別である。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

口(くち)にも筆にも尽くせ・ない
話にも文章にも表現しきれない。筆舌に尽くしがたい。「―・ないすばらしい出来栄え」

くち - のこ・る【朽（ち）残る】
［動ラ五（四）］
朽ちかかったまま残る。朽ちたまま残る。「―・った老杉(ろうさん)の幹」

口(くち)の下(した)から
言い終わるか終わらないうちに。「もう言わないという―また愚痴を言う」

口(くち)の端(は)に掛(か)か・る
人々の話の種にされる。うわさされる。

口(くち)の端(は)に上(のぼ)・る
うわさになる。話の種になる。「世間の―・る」

くち - のみ【口飲み】
容器に入った水や酒などを、小さな器に移さずにそのまま飲むこと。「徳利から―にする」

嘴(くちばし)が黄色(きいろ)・い
《ひな鳥のくちばしが黄色いところから》
年が若くて経験の足りないことをあざけっていう言葉。「まだまだ―・くて頼りにならない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

嘴(くちばし)を容(い)・れる
自分とは直接関係のないことに横から口出しをする。容喙(ようかい)する。「人のすることにすぐ―・れたがる」

くち - びょうし【口拍子】
① 口で拍子をとること。また、その拍子。
② 言葉の調子のよさ。「―に乗る」

唇(くちびる)を噛(か)・む
怒りやくやしさをこらえる。「いつも決勝戦で敗れ、いく度―・んだことであろうか」

口火(くちび)を切・る
物事を他に先がけて行って、きっかけをつくる。「攻撃の―・る」「論議の―・る」

くち - べらし【口減らし】
［名］(スル)
家計の負担を軽くするために、子供を奉公に出したり養子にやったりして、養うべき家族の人数を減らすこと。

くち - まめ【口忠実】
［名・形動］
口数の多いこと。また、そういう人やそのさま。「―によくしゃべる」

口(くち)より先に手が・出る
言葉で注意したり叱(しか)ったりする前に、相手に腕力をふるう。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

口(くち)を入(い)・れる
他人の話に割り込む。また、他人のことに干渉する。嘴(くちばし)をいれる。「内輪の話に―・れてほしくない」

口(くち)を極・める
言葉のありったけをつくす。あらゆる言い方をする。「―・めて褒める」

口(くち)を酸っぱく・する
忠告などを何度も繰り返して言う。「―・して注意する」

口(くち)を添・える
人が頼みごとなどをするときに、間に立って言葉を加えてとりなす。口添えをする。「友人が―・えてくれたので話がうまくまとまった」

口(くち)を糊(のり)・する
やっと暮らしをたてる。「内職をして―・する」→糊口(ここう)

くっ‐し【屈指】
《指を折って数える意から》
多くの中で、特に数え上げるに値するほどすぐれていること。指折り。「国内―の強豪チーム」

轡(くつわ)をは・める
金品を与えて、口止めをする。くつわをかます。「金の―・める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

句読(くとう)を切・る
句読点を打って文の切れ目をはっきりさせる。

苦杯(くはい)を嘗(な)・める
にがい経験をする。苦杯を喫する。「あのチームには前回―・めさせられた」

首(くび)に縄(なわ)を付(つ)・ける
いやがる者を無理矢理連れて行こうとする。

首根(くびね)っ子(こ)を押さ・える
相手の弱点や急所をつかんで動きがとれないようにする。

首(くび)を賭(か)・ける
命がけで物事を行う。また、職を失う覚悟で事にあたる。「計画達成に―・ける」

首(くび)を竦(すく)・める
驚いたり恐れ入ったりしたときに、思わず首を縮めるしぐさをする。

首(くび)を挿(す)げ替・える
重要な役職に就いている人を入れ替える。「編集長の―・える」

くま‐ど・る【隈取る】
［動ラ五（四）］
陰影や濃淡などで境目をつける。「疲労の色に―・られた顔」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

くみ - おき【汲み置き】
水をくんでおくこと。また、くんでおいた水。「断水用の―」

くみ - し・く【組（み）敷く】
［動カ五（四）］
相手を倒して、自分の下に押さえつける。組みふせる。「侵入者を膝の下に―・く」

くみ・する【与する／組する】
［動サ変］［文］くみ・す［サ変］
仲間に加わる。味方する。同意する。「いずれの立場にも―・しない」「彼の提案に―・する」

くも - あし【雲脚／雲足】
雲の流れ動くさま。また、その速さ。「―が速い」

蜘蛛（くも）の子を散ら・す
《蜘蛛の子の入っている袋を破ると、蜘蛛の子が四方八方に散るところから》
大勢のものが散りぢりになって逃げていくことのたとえ。「悪童どもは―・すように逃げ去った」

雲（くも）を霞（かすみ）と
一目散に走って行方をくらますさま。「―逃げ去る」

雲（くも）を掴（つか）・む
物事が漠然としていて、とらえどころがないさまにいう。「―・むような話」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

雲(くも)を衝(つ)・く
身長が非常に高いことのたとえ。雲衝く。「―・くばかりの大男」

くやし - なみだ【悔し涙】
くやしさのあまりに出る涙。「裏切られて―をこぼす」

くやし - まぎれ【悔し紛れ】
［名・形動］
くやしさのあまりに見境がなくなること。また、そのさま。「―に悪態をつく」

暮(く)らしが立・つ
生活していける。「共稼ぎしてやっと―・つ」

くり - こ・む【繰（り）込む】
［動マ五（四)］
① 大ぜいでそろって入り込む。「大挙して店に―・む」
② 手繰り寄せる。「縄を手元に繰―・む」
③ ある物事の中に組み入れる。「教育費を生活費に―・む」
④ 大ぜいの人を入り込ませる。「大選手団を―・む」

くり - よ・せる【繰（り）寄せる】
［動サ下一］［文］くりよ・す［サ下二］
① たぐって手元に引き寄せる。たぐり寄せる。「魚網を―・せる」
② 次々に詰め寄せる。「城壁に―・せる敵軍」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

くるま - ざ【車座】
多くの人々が輪のように内側を向いて並んで座ること。「―になって酒を飲む」

くれ - なず・む【暮れ泥む】
［動マ五（四）］
日が暮れそうで、なかなか暮れないでいる。「―・む空」

くれ - のこ・る【暮れ残る】
［動ラ五（四）］
日が沈んだあと、しばらく明るさが残る。「―・った空を渡る雁の一群」

くれ - は・てる【暮れ果てる】
［動タ下一］［文］くれは・つ［タ下二］
すっかり日が暮れてしまう。「―・てた空に星影が浮かぶ」

くん - か【薫化】
［名］（スル）
徳によって人をよい方に導くこと。「人々を―する」

くん - せん【薫染】
［名］（スル）
《香気が他に染み込むところから》
よい感化を受けること。また、与えること。「良き先輩の―をこうむる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

くん - とう【薫陶】
［名］（スル）
《香をたいて薫りを染み込ませ、土をこねて形を整えながら陶器を作り上げる意から》
徳の力で人を感化し、教育すること。「―のたまもの」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.